

長野県食と農業農村振興計画 木曾地域 令和2年度実績
 ～ 木曾らしく、農業の個性を高め、伝統食で人をつなぐ ～

■ 達成指標

重点取組	達成指標	現状 (2016年)	2020		目標 (2022年)
			計画	実績	
1	新規就農者数(45歳未満・計画期間の累計)	8人	10人	12人	10人
	定年等帰農者の数(計画期間の累計)	6人	9人	9人	15人
2	御嶽はくさい出荷量	38.3万c/s	40万c/s	29.5万c/s	40万c/s
	御嶽はくさい出荷額	4億6千万円	5億3千万円	4億8千万円	5億3千万円
	1戸当たり子牛出荷頭数	5.47頭	5.80頭	6.35頭	6.00頭
3	販売額1千万円以上の園芸品目	8品目	9品目	5品目	9品目
	米の1等米比率	63%	88%	68.6%	90%
4	GIすんきの製造量	0(37.7※)t	46t	25t	50t
	6次産業による商品化数	7	10	10(1増)	12
5	野生鳥獣による農作物被害額	17,271千円	14,200千円	13,359千円	12,000千円
	荒廃農地の解消面積	22ha	40ha	15.1ha	40ha
	中山間地域農業直接支払事業による農地等保全活動面積	389ha	389ha	370ha	389ha
	地域ぐるみで取り組む多面的機能支払事業の活動面積	346ha	346ha	271ha	346ha
6	生産性を高める農地の条件整備	814ha	819ha	820ha	829ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	2.4kw	32.0kw	34.4kw	90kw
	新たに観光資源として整備する農業施設数	—	—	2箇所	2箇所

※2016年にGI登録されたことを想定した場合の推定製造量

重点取組1：木曾農業を支える経営体と人材の確保・育成

○ 就農相談会、移住・定住フェア等での木曾農業の情報発信、PRによる担い手確保対策の推進

➢ 管内高校と連携した「職業としての木曾農業の魅力」の説明会等開催(対象2校)

- ・ 木曾青峰高校生が県アグリウォッチング事業を活用し、農業法人アースかいだ代表中村氏の講演と農場を見学(8月 17人)

- ・ 木曾青峰高校生が農業の魅力発信セミナーで、レストランのシェフを講師に自ら栽培した農作物を使い調理実習を実施

- ・ 木曾青峰高校で企業説明のプレゼンテーションを開催、(農)アースかいだが、ブース出展し企業活動をプレゼン(2回 高校生計19人)。

➢ 町村、JAと連携し就農相談会での新規就農者の確保

- ・ 就農推進会議で、町村と木曾広域連合と就農・移住に関する情報交換を行い今後の連携を確認(12月 1回)

○ 里親支援事業等を活用した新規就農者の育成

➢ 里親研修生への就農支援及び青年農業者へ技術・経営のフォローアップ(2人)

- ・ 里親研修生への支援では、巡回による研修状況の確認と就農へ向けた営農計画の作成及び資金利用計画支援を実施(毎月 木祖村1人)

- ・ 新規に就農した夏秋イチゴ農家を巡回し、管理技術・病害虫防除技術指導を実施(月2回 木曾町1人)



アグリウォッチング事業での研修

- 農業入門講座（基礎・実践）の開催による定年帰農等の支援
 - 定年退職者等を対象に農業入門講座を開催し定年帰農に必要な技術習得を支援
 - ・ 実践講座を開講し圃場準備から播種・定植、収穫・調整作業を実施（2回）
 - ・ 視察研修では 先進的なコギク農家を視察（1回 5人）
 - ・ 基礎講座を開講、木曾の野菜・花き、病虫害・鳥獣対策、農作業安全、GAP、土壌診断等基礎的な内容を指導（3回 27人）
- 集落営農組織、作業受託組織の体制強化や法人化の支援
 - 「農業経営者総合サポート事業」を活用した営農組織の体制強化
 - ・ 王滝村機械利用合理化組合 法人化の支援（農業経営者総合サポート事業）
 - ・ 専門家を派遣し法人化の可能性について検討（2回）

重点取組2：木曾農業ブランドの「御嶽はくさい」、「木曾子牛」の生産振興

- 意欲ある経営体の育成や高齢農家等への作業支援体制づくり
 - 労働負荷軽減対策や作業改善による営農体制の強化
 - ・ 2種類のアシストスーツを生産農家にレンタルし、作業時の体への労働負荷軽減効果をアンケートにより確認、結果をメーカーへフィードバック（7月～木曾町2人、木祖村5人）
 - ・ 動画撮影や作業工程の分析に取り組み効率的作業への改善策を提案（木曾町 2人）
- 御嶽はくさい農家の経営安定指導
 - 基幹的な農業者の経営発展・技術向上支援
 - ・ 基幹的な御嶽はくさい農家の課題を整理し、重点支援チームによる巡回を実施し課題解決へ向けた支援を実施（木曾町3戸、木祖村3戸）
- 御嶽はくさいの品質向上と適正生産及び代替品目の検討
 - 定期的な病虫害の発生調査等に基づく防除講習会の開催
 - ・ コナガフェロモントラップを各3ヶ所設置（木祖村、木曾町開田）、捕殺数を調査（3月～10月 毎3回）、結果を栽培農家・JAへ周知し適期防除を支援（21回）
 - ・ 前年多発した病虫害対策で生産者の支援要望が多い、緑肥講習会（4月）、ハクサイ生理生態講習会（6月・7月）、土壌断面調査（10月）の指導を実施
 - 移植栽培技術の導入による早期出荷と夏場以降のスイートコーン等の導入支援
 - ・ 移植作型での凍霜害によるロスを軽減するため被覆資材の効果を確認、葉のスレと日中の高温を懸念する意見から被覆開始時期が遅れ降霜期間中の温度測定ができなかった。
 - ・ 木祖村の農家では8月～9月出荷分は完全にスイートコーンに切り替え、夏場以降のスイートコーン等の導入を実施（1戸）
- 新規就農者等支援による子牛出荷頭数確保
 - 畜産クラスター協議会設立による関係機関と連携した新規就農者等への支援
 - ・ 南木曾町畜産クラスター計画作成の打合せ（6月上旬）、同計画認定（10月1日）
 - ・ 木祖村畜産クラスター計画の変更認定申請の作成支援を実施（機械導入・施設整備・増頭事業等）（9月）
 - 新規就農者等の自立に向けた技術・経営等の指導
 - ・ 就農1年目の畜産農業者へ技術・経営支援と青年等就農計画の進捗管理を実施（木



動画撮影による作業工程の分析

祖村 1 人)

- ・ 就農 6 年目の畜産農業者へ技術・経営向上支援を行い年間 30 頭の出荷目標を達成 (木曾町 1 人)

重点取組 3 : 特色ある「稼げる」農業の推進

○ 消費者ニーズに基づく推進品目及び経営モデルの検討

- 実証ほ設置による新たな推進品目 (花木類) の検討

- ・ 「啓翁桜」の試験圃場 (定植 3 年目) で収穫試験を行い環状剥離、薬剤処理による花芽形成の効果確認し花芽形成効果を確認 (王桑村)
- ・ ふかし用ハウス施設と加温設置の確保を行い現地指導会を実施 (大桑村 1 月)



啓翁桜のふかし用ハウスでの指導会

- サヤインゲンの収穫調製方法の見直しによる労働改善

- ・ 収穫調整方法の改善のため動画を撮影し、収穫調整方法の現況を確認し労働改善を提案 (6 月 1 戸)
- ・ 9 月の安定出荷に向けた栽培方法の改良のため効果的な薬剤散布の試験を実施 (8 月、2 試験)
- ・ ジベレリン処理による収量の増加試験を実施 (木曾町)

○ 農産物直売所、農産加工施設の経営改善と人材育成

- 商品力向上、人材育成研修等による直売所及び加工施設運営支援)

- ・ 食の地産地消と農産物直売機能の強化のため、令和元年度の営業実績の調査を実施し現状を確認
- ・ 加工施設の経営改善と人材育成のため木祖村道の駅を対象に 6 次産業化サポート事業による支援を実施 (3 回)

- エコファーマー取得の推進と組織の G A P 導入の支援

- ・ 日義道の駅の直売所生産者を対象に再申請の支援を実施 (新規 1 人 再申請 14 人認定)
- ・ 農業法人アースかいだへ J G A P 指導員が取得支援を実施 (5 月、8 月、9 月) G A P 理解度測定を実施 (2 人)

○ 害虫防除等栽培管理の徹底と米穀乾燥調製施設の機能強化による 1 等米比率向上

- 斑点米発生多発地区の掌握と J A と連携した指導会の開催

- ・ 農薬の適期散布と畦畔の管理について J A と連携し稲作指導会を実施 (6 ~ 7 月)
- ・ カメムシすくいとり調査と、農業共済導入の産業用マルチローターによる精度確認実施 (8 月)

一等米比率 = 産業用マルチローター利用 : 78.6%、利用以外 : 39.5% (全体 : 68.6%) と防除効果を確認

重点取組 4 : 木曾の本物を味わう食と食し方の提供

○ 生産工程管理記録と適正表示の徹底、加工技術の向上

- 生産工程管理記録の見直しによる H A C C P 導入支援

- ・ 令和 2 年度の生産工程管理記録の確認と生産量の実施 (27 件 25 t)
- ・ H A C C P 研修会の開催 11 月 27 日、参加者 25 人、生産工程管理記録作成指導

(11月27人)

○ すんきの原料であるかぶ菜の品質向上・生産拡大

- 長期需要に対応したすんき用かぶ菜安定生産のため病虫害防除指導の実施
 - ・ 病虫害の多発圃場へ薬剤防除・追肥指導を行い病虫害の発生を抑制（5回）
 - ・ 南部地区で収穫期調査による適期収穫を指導し適期収穫実施
 - ・ 根こぶ病対策について資料提供と、圃場変更等の指導を実施（南木曾町）
- かぶ菜（信州の伝統野菜）の系統維持と種子生産技術向上への支援
 - ・ 赤かぶの採種ほの生育状況を巡回し確認（4月～6月）
 - ・ 県原種センターへの種子委託保存を実施（2種類）
 - ・ 木曾管内の赤かぶ6種類の栽培・系統維持についての課題を生産者からの聞き取を実施（10月）

○ 6次産業による商品化の推進

- 信州6次産業化推進協議会等と連携した商品開発支援
 - ・ 6次産業化推進員と連携し新商品開発（4月 1品）

○ 木曾ならではの商品振興及び観光と連携した地域活性化

- 木曾牛、そば、淡水魚等特産品のPRの実施
 - ・ 食育事業「木曾牛給食の日」に小・中学生に木曾牛を食材として提供（11月16日～20日 18校1,654人）
 - ・ 信州ひすいそば「桔梗11号」実証圃を設置し特性を調査（大桑村1箇所 実証圃6a）、試食会を実施（12月 大桑村）
 - ・ 木曾のそば推進協議会でアンケートを実施（8月 回答率77%）スタンプラリー継続には77%の賛成、木曾広域連合とスマートフォンの活用について検討



木曾牛を利用したメンチカツの給食

重点取組5：住民参加による元気な村づくり

○ 捕獲・防除・環境整備を組合せた野生鳥獣被害対策支援

- 防除対策講習会の開催及び電気柵の効果的な設置、点検の実施
 - ・ 現地における電気柵点検、改善指導の実施（8月、10月 南木曾町、木祖村、王滝村、大桑村）
 - ・ ライトセンサによる鹿の個体調査の実施（10月 木曾町）
 - ・ GPSを活用したサル群現地調査の実施（10月 大桑村）
 - ・ 鳥獣害防止関連啓発資料配付（サル、アライグマ）

○ 荒廃農地解消の取組支援

- 花木類、えごま、小ギク、さといも、そば等の栽培を支援
 - ・ ヒペリカム：トンネル栽培による凍霜害対策試験実施（4月）と巡回指導（5月、6月、8月）、芽整理講習会を実施し良好な生育を確認（6月）
 - ・ 啓翁桜：の花芽着生試験実施（6月）
 - ・ えごま：展示圃設置（6月）個別巡回による技術指導を実施（8月～9月 2回）収穫試験（10月～1月）適期移植の収穫増を確認
 - ・ サトイモ：試験圃場設置湛水栽培、生分解マルチ試験を実施（5月～）慣行マルチと遜色ない収穫量を確認
子芋分離機実演試験及び試験栽培の実施（10月20人）

省力効果、芋の損傷を減らすことを確認

- ・ そば：湿害対策を実施のための技術指導と巡回（9月）
7月の長雨による播種時期の遅れがあったが収量平年並みに確保

○ 中山間地域農業直接支払制度による農地等保全の取組支援とPR

- 協定集落での住民参加による「人・農地プラン」の実質化へ向けた支援
 - ・ 中山間直払いの第5期協定の作成支援（5町村 65協定締結）
 - ・ 直払い協定の集落戦略への取り組み支援と、人・農地プランの実質化への支援を代表者説明会、町村巡回説明により実施（5月～12月 6町村）

○ 多面的機能支払制度により農地や水路等の保全活動を行う組織への支援とPR

- 取組組織数の維持及び新たな取組の拡大のための制度周知と活動支援
 - ・ 研修会の開催による制度周知を実施（6月 大桑村）
- 事務手続に関する研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催
 - ・ 研修会、講習会の開催（6月 大桑村）

重点取組6：元気な村づくりのための農地の条件整備と農村資源の活用

○ 中山間地のほ場・用排水路・農道の整備

- 県営中山間総合整備事業により、上松町野尻のほ場整備を完了、徳原の整備に着手し、農地整備率を向上
 - ・ 中山間総合整備事業により、上松町野尻工区 A=75ha のほ場整備が完了
 - ・ 中山間総合整備事業により、上松町徳原工区 A=2.9ha のほ場整備に着手
- 県営中山間総合整備事業等により、老朽化した用水路・農道等の整備を実施
 - ・ 中山間総合整備事業により、木祖村 小木曾等の農業用水路 L=833m の整備が完了
 - ・ 木祖村小木曾等の農道 L=760m の整備に着手



完成した上松町野尻工区のほ場

○ 小水力発電施設の整備及び技術的支援

- 先進地視察及び管理運営方法等研修会への参加と各種調整における技術的な支援
 - ・ 団体営農業用水路等長寿命化防災減災事業により、南木曾町細野洞地区(32kw)で実施する小水力発電施設整備に向け、南木曾町へ施設建設等の技術的支援を実施
- 県営中山間総合整備事業等による上松町吉野、南木曾町細野洞の発電施設の建設
 - ・ 県営中山間総合整備事業により、上松町吉野工区(132kw)の建設に着手
 - ・ 団体営農業水路等長寿命化防災減災事業により、南木曾町細野洞地区(32kw)の整備を推進

○ 農業資産等を観光資源として活用するための案内看板や遊歩道の整備

- あやめ公園（木祖村）の遊歩道に係る計画の策定と整備
 - ・ 県営中山間総合整備事業木曾川源流の里地区での実施に向け、計画を策定
- 旭の滝：上堰（木曾町日義）の案内看板等の整備
 - ・ 元気づくり支援金により、旭の滝の案内看板等の整備を支援